

2022 年度事業計画（全国川ごみネットワーク）

海洋プラスチックごみ対策の機運が世界的に高まる中で、川ごみ問題の解決に向けた全国ネットワークとして、各種の情報収集・共有・発信、他団体との協力・支援、普及啓発活動等を一層活性化し、全国の川や湖沼、海岸等の水辺のごみ削減対策を推進する。

1. 全国水辺のごみ調査「水辺のごみ見つけ！」の実施

- ・水辺のごみ散乱防止対策に役立てることを目的に、全国規模でのごみ調査「水辺のごみ見つけ！」を7年目として継続する。実施期間は4月～11月とする。
- ・国土交通省に向けて、各地方整備局等の協力を得て全国の一級水系の河川管理者による調査を依頼する。
- ・実施に際しては、調査参加者などの意見も参考に、参加しやすいよう多少の改善を取り入れる。
- ・SNS、投稿、講座発表など様々な手段を活用し、新規参加者の獲得を目指し、広報・普及を促進する。
- ・調査結果は事務局で集約し、当ネットワークのHP等で公表するとともに、関連する企業、業界団体等への直接に報告等を行い、川ごみ、海ごみ削減に活かされるようにする。

2. 川ごみサミットの開催

- ・11月頃を目途に東京で開催する。社会状況等により、開催有無および形態については柔軟に考える。

3. 川ごみ削減の普及啓発

①プラスチックごみ削減普及プロジェクト

- ・啓発用ツールや出前授業などのこれまでの知見を活かし、川・海ごみ削減の環境講座をすすめるためのポイントブックを制作する。

②出前授業の実施

- ・コロナ禍などの理由で保留としていた小学校や、前年度実施した小学校などを対象にニーズを尋ね、希望のある学校で出前授業を実施する。実施にあたっては、地域の団体とも連携し、今後もその地域で継続実施していくための手法を探る。
- ・前年度サポートいただいた地域リーダーが、川ごみ削減の環境講座を開催することを支援し、各地域での広がりを図る。

4. 川ごみ対策の推進に向けた情報収集・情報発信・普及啓発

- ・回収したごみの収集処理問題などの課題解決に向け、河川管理者、行政、市民などへのヒアリングを行う。他地域の参考事例を含めて課題と解決策などを整理し、関係者等へ提示する。

- ・会員、一般を対象としたオンラインミニセミナーを開催し、話題提供や情報交換を行う。
- ・市民団体、企業、学会、大学等が主催する研究会、イベント等に参加して、当ネットワークの活動内容を報告し、川ごみ、海ごみの課題を共有するとともに、川ごみ、海ごみ削減のための対策の検討、提言、普及啓発活動を行う。
- ・韓国 NGO と連携し、アジア地域における川ごみ対策の国際的な推進に向けた活動を展開するため、2022 年度トヨタ財団助成（国際助成プログラム～アジアの共通課題と相互交流）への応募を検討する。
- ・ホームページ、Facebook を随時更新し、情報を発信する。

5. 組織運営

- ・事業計画を検討するための理事会および総会を開催する。
- ・原則として毎月理事ミーティングを開催する。その他必要に応じて、E メール等で意見交換を行う。
- ・賛同する個人・団体の会員を増やし、活動を広める。